

平成29年度
教育・保育施設及び地域子ども子育て支援事業の
見直しについて（案）

平成29年度 第1回鹿島市子ども・子育て会議
（平成29年9月6日）

1. 教育・保育施設の提供体制の確保及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保の考え方

教育・保育施設の提供体制	認定こども園・幼稚園・保育所及び地域型保育事業所が設定している利用定員の総数とします。
1号認定児童 教育希望（3～5歳児）	認定こども園、幼稚園の利用定員数です。
2号認定児童 教育希望（3～5歳児）	認定こども園、幼稚園の利用定員数です。
2号認定児童 保育必要（3～5歳児）	認定こども園、保育所の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（1～2歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。
3号認定児童 保育必要（0歳児）	認定こども園、保育所、地域型保育事業の利用定員数です。

地域子ども・子育て支援事業の提供体制	地域子ども・子育て支援事業（13事業）の確保方策については下記のとおり整理します。
1 利用者支援事業	実施施設においての利用者支援専門員の配置としています。
2 地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターへ来客された人数に対して、対応できた人数とします。
3 妊婦健康診査	健診勧奨を行った結果、それを処理した人数とします。
4 乳児家庭全戸訪問事業	全乳児家庭に対する訪問件数とします。
5 養育支援訪問事業	養育が必要な家庭に対する訪問件数とします。
6 子育て短期支援事業 （ショートステイ）	利用申込みに対する対応可能数とします。
7 子育て援助活動支援事業 （ファミリー・サポート・センター）	事業の進捗状況を報告します。
8 一時預かり事業	事業を行う施設での事業実績とします。
9 延長保育事業	事業を行う施設での事業実績とします。
10 病児・病後児保育事業	市外施設での利用実績及び事業の進捗状況を報告します。
11 放課後児童健全育成事業 （放課後児童クラブ）	各クラブの定員数です。
12 実費徴収に係る補足給付を行う事業	事業の実施はありません。
13 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	事業の実施はありません。

2. 教育・保育施設の量の見込みと確保方策の見直しについて

【教育・保育施設の提供体制】

(1) 1号認定 【3～5歳教育標準時間認定：認定こども園・幼稚園】

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

1号認定（教育希望）		H27	H28	H29	H30	H31
見込量合計 A		39	38	37	37	36
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設	40	38	39	40	40
	特定地域型保育事業	0	0	0	0	0
	合計 B	40	38	39	40	40
過不足（B-A）		1	0	2	3	4

② 実績

1号認定（教育希望）		H27	H28	H29
利用実績	特定教育・保育施設	30	34	26
	特定地域型保育事業	0	0	0
	確認を受けない幼稚園	15	18	22
	合計 C	45	52	48
進捗率（C/A）		115%	137%	130%

③ 見直し案

1号認定（教育希望）			H30 (案)	H31 (案)
見込量合計 D			105	105
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設		105	105
	特定地域型保育事業	⇒	0	0
	確認を受けない幼稚園	⇒	0	0
	合計 E	⇒	105	105
過不足（E-D）			0	0

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

注 1 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。

注 2 特定地域型保育とは小規模保育や事業所内保育等をいいます

注 3 確認を受けない幼稚園とは新制度に移行していない市内の事業者です。

注 4 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。

注 5 H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値です。

【計画値の見直し理由】

平成30年4月より「幼稚園の施設型給付」を開始する事業者があるため、見込量等の見直しを行います。

(2) 2号認定 【3～5歳教育標準時間認定：認定こども園・幼稚園】

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

2号認定（教育希望）		H27	H28	H29	H30	H31
見込量合計 A		54	64	61	59	57
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設	60	62	61	60	60
	特定地域型保育事業	0	0	0	0	0
	合計 B	60	62	61	60	60
過不足（B-A）		6	△2	0	1	3

② 実績

2号認定（教育希望）		H27	H28	H29
利用実績	特定教育・保育施設	30	26	16
	特定地域型保育事業	0	0	0
	確認を受けない幼稚園	30	26	28
	合計 C	60	52	44
進捗率（C/A）		111%	81%	72%

③ 見直し案

2号認定（教育希望）		H30 （案）	H31 （案）
見込量合計 D		○	○
確保方策型 計画値	特定教育・保育施設	○	○
	特定地域型保育事業	⇒	⇒
	確認を受けない幼稚園	⇒	⇒
	合計 E	⇒	⇒
過不足（E-D）		0	0

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

- 注 1 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。
 注 2 特定地域型保育とは小規模保育や事業所内保育等をいいます
 注 3 確認を受けない幼稚園とは新制度に移行していない市内の事業者です。
 注 4 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。
 注 5 H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値です。

【計画値の見直し理由】

当初の計画では「2号認定」で「3歳以上の教育希望」としていましたが、前掲の「1号認定」で「3歳以上の教育希望」と同等の意味を成すことから、この区分を無くし、同一にするものです。

(3) 2号認定（保育必要） 【3～5歳保育認定：認定こども園・保育所】

3～5歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。
対象施設は認定こども園・保育所となります。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

2号認定（3歳以上保育）		H27	H28	H29	H30	H31	
① 計画策定時	見込量合計 A	719	712	702	688	675	
	確保方策型 計画値	特定教育・保育施設	673	673	702	702	702
		特定地域型保育事業	0	0	0	0	0
		合計 B	673	673	702	702	702
	過不足（B-A）		△ 46	△ 39	0	14	27

2号認定（3歳以上保育）		H27	H28	H29
② 実績	利用実績	736	701	692
	特定地域型保育事業	0	0	0
	合計 C	736	701	692
進捗率（C/A）		102%	98%	99%

2号認定（3歳以上保育）		H30 (案)	H31 (案)	
③ 見直し案	見込量合計 D	688	675	
	確保方策型 計画値	702	702	
		特定地域型保育事業	0	0
		合計 E	702	702
	過不足（E-D）		14	27

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については
⇒
⇒
⇒

- 注 1 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。
注 2 特定地域型保育とは小規模保育や事業所内保育等をいいます
注 3 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。
注 4 H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値です。

【計画値の見直し理由】

本認定の実績については当初の確保方策の近い数値で推移しており、10%以上の乖離は見られません。

(4) 3号認定（保育必要）

【1～2歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

1～2歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

3号認定（1～2歳保育）		H27	H28	H29	H30	H31	
① 計画策定時	見込量合計 A	454	442	436	426	417	
	確保方策型 計画値	特定教育・保育施設	438	438	428	428	428
		特定地域型保育事業	2	2	8	8	8
		合計 B	440	440	436	436	436
	過不足（B-A）	△ 14	△ 2	0	10	19	

3号認定（1～2歳保育）		H27	H28	H29
② 実績	利用実績			
	特定教育・保育施設	409	380	378
	特定地域型保育事業	0	0	0
	合計 C	409	380	378
	補正率（C/A）	90%	86%	87%

3号認定（1～2歳保育）			H30 (案)	H31 (案)
③ 見直し案	見込量合計 D		378	359
	確保方策型 計画値	特定教育・保育施設	428	428
		特定地域型保育事業	0	0
		合計 E	428	428
	過不足（E-D）		50	69

利用実績等を考慮し、
 H30～31以降の見込量
 および確保方策については
 ⇒
 ⇒
 ⇒

注 1 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。

注 2 特定地域型保育とは小規模保育や事業所内保育等をいいます

注 3 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。

注 4 H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値です。

【計画値の見直し理由】

社会増減や自然増減により、本認定における見込量も変わりつつあります。
実績や人口推移を考慮し、見込量の見直しを行います。

なお計画当初、特定地域型保育事業において実施予定施設がありましたが、実施されないことで確認が取れています。

(5) 3号認定（保育必要）

【0歳保育認定：認定こども園・保育所・小規模保育等】

0歳で保育の必要性がある認定区分です。施設での保育希望です。
対象施設は認定こども園・保育所・小規模保育等となります。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

3号認定（0歳保育）		H27	H28	H29	H30	H31	
① 計画策定時	見込量合計 A	203	198	192	190	185	
	確保方策型計画値	特定教育・保育施設	200	200	190	190	190
		特定地域型保育事業	1	1	5	5	5
		合計 B	201	201	195	195	195
過不足（B-A）		△2	3	3	5	10	

3号認定（0歳保育）		H27	H28	H29
② 実績	特定教育・保育施設	154	152	136
	特定地域型保育事業	0	0	0
	合計 C	154	152	136
補正率（C/A）		76%	77%	71%

3号認定（0歳保育）			H30 (案)	H31 (案)
③ 見直し案	見込量合計 D		145	145
	確保方策型計画値	特定教育・保育施設	190	190
		特定地域型保育事業	0	0
		合計 E	190	190
過不足（E-D）			45	45

利用実績等を考慮し、
 H30～31以降の見込量
 および確保方策については
 ⇒
 ⇒
 ⇒

注 1 特定教育・保育施設とは市より確認をうける認定こども園、幼稚園、保育所です。

注 2 特定地域型保育とは小規模保育や事業所内保育等をいいます

注 3 確保方策の利用定員数には市外施設も算定しております。

注 4 H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値です。

【計画値の見直し理由】

社会増減や自然増減により、本認定における見込量も変わりつつあります。
実績や人口推移を考慮し、見込量の見直しを行います。
なお計画当初、特定地域型保育事業において実施予定施設がありましたが、実施されないことで確認が取れています。

【地域子ども・子育て支援事業の提供体制】

利用者支援事業

子ども及びその保護者等が教育・保育施設や地域の子育て支援事業等を円滑に利用できるよう、身近な実施場所で情報収集と提供を行い、必要に応じ相談・助言等を行うとともに、関係機関との連絡調整等を図る事業です。

市全域を対象として地域子育て支援センターに利用者支援専門員を配置します。

■量の見込みと確保方策

① 計画策定時

計画当初、具体的な計画値はありませんでした。

(単位：箇所)

② 実績

		H27	H28	H29
量の実績	A	1	1	1
確保方策型	B	1	1	1
B-A		0	0	0
進捗率		100%	100%	100%

③ 見直し案

量の見込み(計画値)	C
確保方策型(計画値)	D
D-C	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込み
および確保方策については

⇒

⇒

⇒

H30 (案)	H31 (案)
1	1
1	1
0	0

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

計画策定当初は具体的な計画値はありませんでしたが、H27年度より利用者のニーズに応えるよう、事業を開始しており、現在も本事業を継続して行っているため見直しを行うものです。

地域子育て支援拠点事業（子育て支援センター）

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日／年間）

① 計画策定時

対象年齢（0～2歳児）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	11,856	11,616	11,388	11,124	10,872
確保方策型（計画値）	B	24,000	24,000	24,000	24,000	24,000
B-A		12,144	12,384	12,612	12,876	13,128

② 実績

対象年齢（0～2歳児）		H27	H28	H29
量の実績	C	16,768	17,574	18,000
確保方策型	D	24,000	24,000	24,000
D-C		7,232	6,426	6,000
進捗率		70%	73%	75%

③ 見直し案

対象年齢（0～2歳児）	
量の見込み（計画値）	E
確保方策型（計画値）	F
F-E	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込み
および確保方策については

⇒

⇒

⇒

H30 （案）	H31 （案）
18,500	19,000
24,000	24,000
5,500	5,000

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

計画値の見込みと確保方策に数値の乖離が見られたために見直しを行うものです。

妊婦健康診査

妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、「健康状態の把握」「計測」「保健指導」を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施します。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	420	420	420	420	420
確保方策型（計画値）	B	420	420	420	420	420
B-A		0	0	0	0	0

② 実績

人数		H27	H28	H29
量の実績	C	393	395	390
確保方策型	D	420	420	420
D-C		27	25	30
進捗率		94%	94%	93%

③ 見直し案

人数	
量の見込み（計画値）	E
確保方策型（計画値）	F
F-E	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 (案)	H31 (案)
390	390
420	420
30	30

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

利用実績を考慮し、今年度以降もほぼ横ばいで推移するものと考えます。

乳児家庭全戸訪問事業

生後4カ月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行います。

■量の見込みと確保方策

(単位：人／年)

① 計画策定時

人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	290	290	290	290	290
確保方策型（計画値）	B	290	290	290	290	290
B-A		0	0	0	0	0

② 実績

人数		H27	H28	H29
量の実績	C	268	272	290
確保方策型	D	290	290	290
D-C		22	18	0
進捗率		92%	94%	100%

③ 見直し案

人数	
量の見込み（計画値）	E
確保方策型（計画値）	F
F-E	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 (案)	H31 (案)
290	290
290	290
0	0

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

利用実績を考慮し、今年度以降もほぼ横ばいで推移するものと考え、量の見込等の見直しは行いません。

養育支援訪問事業

養育支援が必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導・助言等を行い、その家庭の適切な養育の実施を確保します。

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	35	40	40	40	40
確保方策型（計画値）	B	35	40	40	40	40
B-A		0	0	0	0	0

② 実績

人数		H27	H28	H29
量の実績	C	36	49	40
確保方策型	D	35	40	40
D-C		△ 1	△ 9	0
進捗率		103%	123%	100%

③ 見直し案

人数	
量の見込み（計画値）	E
確保方策型（計画値）	F
F-E	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 (案)	H31 (案)
40	40
40	40
0	0

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

利用実績を考慮し、今年度以降もほぼ横ばいで推移するものと考え、量の見込等の見直しは行いません。

子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者の病気や出張、冠婚葬祭などにより、家庭において子どもを養育することが一時的に困難になった場合、児童養護施設等で一定期間、養育・保護を行います。

■量の見込みと確保方策

（単位：人／年）

① 計画策定時

人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
確保方策型（計画値）	B	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
B-A		0人日	0人日	0人日	0人日	0人日

② 実績

人数		H27	H28	H29
量の実績	C	0人日	0人日	0人日
確保方策型	D	1か所	1か所	1か所
D-C		0人日	0人日	0人日
進捗率		0%	0%	0%

③ 見直し案

人数	
量の見込み（計画値）	A
確保方策型（計画値）	B
B-A	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込み
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 （案）	H31 （案）
0人日	0人日
1か所	1か所
0人日	0人日

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

今後も社会情勢の変化に伴い、保育ニーズの増減が見込まれるため本事業については見直しを行いません。

子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター）

子育て中の保護者を会員として、子どもの預かり等の援助を受けたいものと援助を行いたいものとの相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日／年間）

① 計画策定時

低学年		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	0	0	0	0	0
確保方策型（計画値）	B	0	0	0	0	0
B-A		0	0	0	0	0
高学年		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	C	0	0	0	0	0
確保方策型（計画値）	D	0	0	0	0	0
D-C		0	0	0	0	0

② 実績

低学年		H27	H28	H29
量の実績	E	0	0	10
確保方策型	F	0	0	10
F-E		0	0	0
進捗率		-	-	-
高学年		H27	H28	H29
量の実績	G	0	0	5
確保方策型	H	0	0	5
H-G		0	0	0
進捗率		-	-	-

③ 見直し案

低学年	
量の見込み（計画値）	I
確保方策型（計画値）	J
J-I	
高学年	
量の見込み（計画値）	K
確保方策型（計画値）	L
L-K	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については
⇒
⇒
⇒

H30 （案）	H31 （案）
20	30
20	30
0	0
H30 （案）	H31 （案）
10	10
10	10
0	0

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

平成29年度より本事業を開始したことに伴い、見直しをするものです。

一時預かり事業（幼稚園の預かり保育）

幼稚園在園児を対象とし、通常の教育時間の前後や長期休業期間中などに共働きなどにより保育ができない保護者に代わって常態的に希望者を教育（保育）する事業です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日／年間）

人数			H27	H28	H29	H30	H31
① 計画策定時 量の見込み （計画値）	幼稚園の預かり保育1号認定	A	1,862	1,862	1,862	1,862	1,862
	幼稚園の預かり保育2号認定		22,176	24,910	24,115	23,585	23,055
確保方策型 （計画値）	幼稚園の預かり保育1号認定	B	1,862	1,862	1,862	1,862	1,862
	幼稚園の預かり保育2号認定		24,910	24,910	24,910	24,910	24,910
B－A			2,734	0	795	1,325	1,855

人数			H27	H28	H29
② 実績	量の実績	C	8,111	6,013	7,000
	確保方策型	D	26,772	26,772	26,772
	D－C		18,661	20,759	19,772
	進捗率		30%	22%	26%

人数			H30 （案）	H31 （案）
③ 見直し案	量の見込み（計画値）	E	7,000	7,000
	確保方策型（計画値）	F	26,772	26,772
	F－E		19,772	19,772

利用実績等を考慮し、
 H30～31以降の見込量
 および確保方策については
 ⇒
 ⇒
 ⇒

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

今後も社会情勢の変化に伴い、人口の自然増減等が考えられます。
 これに伴い、保育ニーズも多様化すると推測され、量の見込も変化すると思われま

一時預かり事業（幼稚園の預かり保育以外）

保護者が病気や短期労働、社会文化活動への参加など、一時的に保育ができなくなった場合に保護者に代わって子どもを8時～17時まで保育所等で保育する事業です。

■量の見込みと確保方策

（単位：人日／年間）

① 計画策定時

人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	2,046	2,039	1,987	1,947	1,905
確保方策型（計画値）	B	2,046	2,046	2,046	2,046	2,046
B-A		0	7	59	99	141

② 実績

人数		H27	H28	H29
量の実績	C	1,424	1,516	1,987
確保方策型	D	2,046	2,046	2,046
D-C		622	530	59
進捗率		70%	74%	97%

③ 見直し案

人数	
量の見込み（計画値）	E
確保方策型（計画値）	F
F-E	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 （案）	H31 （案）
1,947	1,905
2,046	2,046
99	141

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

計画値については見直しを行いません。

但し、今後も社会情勢の変化に伴い、人口の自然増減等が考えられます。

これに伴い、保育ニーズも多様化すると推測され、量の見込も変化すると思われま

延長保育事業（時間外保育事業）

保護者の就労形態の多様化に対応するため、保育認定を受けた子どもを認定こども園や保育所等の通常開所時間11時間を越えて保育を行います。

■量の見込みと確保方策

（単位：人／年間）

① 計画策定時

人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	517	517	503	493	482
確保方策型（計画値）	B	643	643	643	643	643
B-A		126	126	140	150	161

② 実績

人数		H27	H28	H29
量の実績	C	671	771	721
確保方策型	D	643	643	643
D-C		△ 28	△ 128	△ 78
進捗率		104%	120%	112%

③ 見直し案

人数	
量の見込み（計画値）	E
確保方策型（計画値）	F
F-E	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 （案）	H31 （案）
700	700
643	643
△ 57	△ 57

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

今後も社会情勢の変化に伴い、人口の自然増減等が考えられます。
これに伴い、保育ニーズも多様化すると推測され、量の見込も変化すると思われま

病児・病後児保育事業

急な病気や病気からの回復期などで、集団保育が困難な子どもを医療機関等の専用施設で一時的に預かり看護及び保育を行います。

■量の見込みと確保方策

(単位：人／年間)

① 計画策定時

人数		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み	A	1,943	1,943	1,892	1,855	1,815
確保方策型	B	50	50	50	50	50
B-A		△ 1,893	△ 1,893	△ 1,842	△ 1,805	△ 1,765

② 実績

人数		H27	H28	H29
量の実績	C	28	45	50
確保方策型	D	50	50	50
D-C		22	5	0
進捗率		56%	90%	100%

③ 見直し案

人数	
量の見込み（計画値）	E
確保方策型（計画値）	F
F-E	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 (案)	H31 (案)
50	50
50	50
0	0

※ H27～H28は実績値、H29以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

今後も社会情勢の変化に伴い、保育ニーズの増減が見込まれるため量の見込みが変動すると思われます。

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

保護者の就労や疾病等の理由で、放課後に家庭でみるできない小学生を
預かり遊びや生活支援を通して児童の安全確保や健全育成を図る事を目的と
した事業です。各小学校で事業を行います。

鹿島小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	72	78	75	77	70
確保方策型（計画値）	B	79	80	79	79	79
B-A		7	2	4	2	9
高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	C	9	8	9	9	9
確保方策型（計画値）	D	9	8	9	9	9
D-C		0	0	0	0	0

② 実績

低学年（1～3年）		H27	H28	H29
量の実績	E	76	94	94
確保方策型	F	79	80	88
F-E		3	△14	△6
進捗率		96%	118%	107%
高学年（4～6年）		H27	H28	H29
量の実績	G	4	5	11
確保方策型	H	9	8	10
H-G		5	3	△1
進捗率		44%	63%	110%

③ 見直し案

低学年（1～3年）		H30 (案)	H31 (案)
量の見込み（計画値）	I	88	88
確保方策型（計画値）	J	88	88
J-I		0	0
高学年（4～6年）		H30 (案)	H31 (案)
量の見込み（計画値）	K	10	10
確保方策型（計画値）	L	10	10
L-K		0	0

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については
⇒
⇒
⇒

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

平成28年度より当校区内に1クラブ増設したことに伴う計画値の見直しを行うもの
です。

明倫小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31	
① 計画策定時	量の見込み（計画値）	A	90	78	84	83	88
	確保方策型（計画値）	B	110	110	109	110	112
	B－A		20	32	25	27	24
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	C	11	11	12	11	9
	確保方策型（計画値）	D	11	11	12	11	9
	D－C		0	0	0	0	0

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	
② 実績	量の実績	E	100	91	114
	確保方策型	F	110	110	109
	F－E		10	19	△5
	進捗率		91%	83%	105%
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29
	量の実績	G	10	19	0
	確保方策型	H	11	11	12
	H－G		1	△8	12
	進捗率		91%	173%	0%

低学年（1～3年）			H30 (案)	H31 (案)	
③ 見直し案	量の見込み（計画値）	I	101	101	
	確保方策型（計画値）	J	110	112	
	J－I		9	11	
	高学年（4～6年）			H30 (案)	H31 (案)
	量の見込み（計画値）	K	9	9	
	確保方策型（計画値）	L	11	9	
	L－K		2	0	

利用実績等を考慮し、
 H30～31以降の見込量
 および確保方策については
 ⇒
 ⇒
 ⇒

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

待機児童解消のため今後、施設整備および既存施設利用の有効活用を視野に計画値を見直すこととします。

浜小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時	低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	A	27	28	30	32	31
	確保方策型（計画値）	B	20	20	20	20	20
	B－A		△ 7	△ 8	△ 10	△ 12	△ 11
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	C	3	3	3	3	3
	確保方策型（計画値）	D	3	3	3	3	3
	D－C		0	0	0	0	0

② 実績	低学年（1～3年）		H27	H28	H29
	量の実績	E	21	39	37
	確保方策型	F	20	20	52
	F－E		△ 1	△ 19	15
	進捗率		105%	195%	71%
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29
	量の実績	G	0	2	3
	確保方策型	H	3	3	8
	H－G		3	1	5
	進捗率		0%	67%	38%

③ 見直し案	低学年（1～3年）			
	量の見込み（計画値）	I		
	確保方策型（計画値）	J		
	J－I			
	高学年（4～6年）			
	量の見込み（計画値）	K		
	確保方策型（計画値）	L		
	L－K			

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒

⇒

⇒

H30 (案)	H31 (案)
38	37
52	52
14	15
H30 (案)	H31 (案)
3	3
8	8
5	5

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

平成28年度より当校区内に1クラブ増設したことに伴う計画値の見直しを行うものです。

北鹿島小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	39	40	39	37	39
確保方策型（計画値）	B	42	42	42	42	42
B-A		3	2	3	5	3
高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	C	4	4	4	4	4
確保方策型（計画値）	D	4	4	4	4	4
D-C		0	0	0	0	0

② 実績

低学年（1～3年）		H27	H28	H29
量の実績	E	40	47	37
確保方策型	F	42	42	42
F-E		2	△5	5
進捗率		95%	112%	88%
高学年（4～6年）		H27	H28	H29
量の実績	G	2	8	4
確保方策型	H	4	4	4
H-G		2	△4	0
進捗率		50%	200%	100%

③ 見直し案

低学年（1～3年）	
量の見込み（計画値）	I
確保方策型（計画値）	J
J-I	
高学年（4～6年）	
量の見込み（計画値）	K
確保方策型（計画値）	L
L-K	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については
⇒
⇒
⇒

H30 (案)	H31 (案)
34	38
42	42
8	4
H30 (案)	H31 (案)
4	4
4	4
0	0

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

H30年以降の量の見込みについては、数の変動が見込まれますが、確保方策については自然増加および減少、社会増加や減少を考慮し、見直しを行いません。

古枝小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時	低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	A	37	38	35	36	38
	確保方策型（計画値）	B	38	38	38	38	38
	B－A		1	0	3	2	0
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	C	4	4	4	4	4
	確保方策型（計画値）	D	4	4	4	4	4
	D－C		0	0	0	0	0

② 実績	低学年（1～3年）		H27	H28	H29
	量の実績	E	48	41	32
	確保方策型	F	38	38	38
	F－E		△ 10	△ 3	6
	進捗率		126%	108%	84%
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29
	量の実績	G	4	4	6
	確保方策型	H	4	4	4
	H－G		0	0	△ 2
進捗率		100%	100%	150%	

③ 見直し案	低学年（1～3年）				H30 (案)	H31 (案)
	量の見込み（計画値）	I			33	36
	確保方策型（計画値）	J			63	63
	J－I				30	27
	高学年（4～6年）				H30 (案)	H31 (案)
	量の見込み（計画値）	K			6	6
	確保方策型（計画値）	L			7	7
	L－K				1	1

利用実績等を考慮し、
 H30～31以降の見込量
 および確保方策については
 ⇒
 ⇒
 ⇒

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

平成30年度には新しくクラブを改築するため、計画値を見直します。

能古見小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	37	34	30	26	28
確保方策型（計画値）	B	38	38	38	38	38
B－A		1	4	8	12	10
高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	C	4	4	4	4	4
確保方策型（計画値）	D	4	4	4	4	4
D－C		0	0	0	0	0

② 実績

低学年（1～3年）		H27	H28	H29
量の実績	E	35	27	33
確保方策型	F	38	38	38
F－E		3	11	5
進捗率		92%	71%	87%
高学年（4～6年）		H27	H28	H29
量の実績	G	4	5	7
確保方策型	H	4	4	4
H－G		0	△1	△3
進捗率		100%	125%	175%

③ 見直し案

低学年（1～3年）	
量の見込み（計画値）	I
確保方策型（計画値）	J
J－I	
高学年（4～6年）	
量の見込み（計画値）	K
確保方策型（計画値）	L
L－K	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については
⇒
⇒
⇒

H30 (案)	H31 (案)
30	32
38	38
8	6
H30 (案)	H31 (案)
7	7
4	4
△3	△3

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

H30年以降の量の見込みについては、数の変動が見込まれますが、確保方策については自然増加および減少、社会増加や減少を考慮し、見直しを行いません。

能古見小校区（浅浦分校）

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時

低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	A	2	1	2	2	2
確保方策型（計画値）	B	10	10	10	10	10
B-A		8	9	8	8	8
高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
量の見込み（計画値）	C	0	0	0	0	0
確保方策型（計画値）	D	0	0	0	0	0
D-C		0	0	0	0	0

② 実績

低学年（1～3年）		H27	H28	H29
量の実績	E	10	2	0
確保方策型	F	10	10	10
F-E		0	8	10
進捗率		100%	20%	100%
高学年（4～6年）		H27	H28	H29
量の実績	G	0	0	0
確保方策型	H	0	0	0
H-G		0	0	0
進捗率		100%	100%	100%

③ 見直し案

低学年（1～3年）	
量の見込み（計画値）	I
確保方策型（計画値）	J
J-I	
高学年（4～6年）	
量の見込み（計画値）	K
確保方策型（計画値）	L
L-K	

利用実績等を考慮し、
H30～31以降の見込量
および確保方策については

⇒
⇒
⇒

H30 (案)	H31 (案)
0	0
0	0
0	0
H30 (案)	H31 (案)
0	0
0	0
0	0

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

本クラブについては平成29年度以降の利用者がいないため、見直しを行います。

七浦小校区

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時	低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	A	24	22	25	24	26
	確保方策型（計画値）	B	39	39	39	39	40
	B－A		15	17	14	15	14
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	C	3	3	3	3	2
	確保方策型（計画値）	D	3	3	3	3	2
	D－C		0	0	0	0	0

② 実績	低学年（1～3年）		H27	H28	H29
	量の実績	E	36	9	11
	確保方策型	F	39	39	39
	F－E		3	30	28
	進捗率		92%	23%	28%
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29
	量の実績	G	3	1	2
	確保方策型	H	3	3	3
	H－G		0	2	1
進捗率		100%	33%	67%	

③ 見直し案	低学年（1～3年）				H30 (案)	H31 (案)
	量の見込み（計画値）	I			11	13
	確保方策型（計画値）	J			39	40
	J－I				28	27
	高学年（4～6年）				H30 (案)	H31 (案)
	量の見込み（計画値）	K			2	2
	確保方策型（計画値）	L			3	2
	L－K				1	0

利用実績等を考慮し、
 H30～31以降の見込量
 および確保方策については
 ⇒
 ⇒
 ⇒

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

H30年以降の量の見込みについては、数の変動が見込まれますが、確保方策については自然増加および減少、社会増加や減少を考慮し、見直しを行いません。

七浦小校区（音成分校）

■量の見込みと確保方策

(単位：人)

① 計画策定時	低学年（1～3年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	A	6	5	8	8	6
	確保方策型（計画値）	B	15	15	15	15	15
	B－A		9	10	7	7	9
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29	H30	H31
	量の見込み（計画値）	C	0	0	0	0	0
	確保方策型（計画値）	D	0	0	0	0	0
	D－C		0	0	0	0	0

② 実績	低学年（1～3年）		H27	H28	H29
	量の実績	E	15	5	8
	確保方策型	F	15	15	15
	F－E		0	10	7
	進捗率		100%	33%	53%
	高学年（4～6年）		H27	H28	H29
	量の実績	G	0	0	0
	確保方策型	H	0	0	0
	H－G		0	0	0
	進捗率		100%	100%	100%

③ 見直し案	低学年（1～3年）		利用実績等を考慮し、 H30～31以降の見込量 および確保方策については ⇒ ⇒ ⇒	H30 (案)	H31 (案)
	量の見込み（計画値）	I		8	9
	確保方策型（計画値）	J		15	15
	J－I			7	6
	高学年（4～6年）			H30 (案)	H31 (案)
	量の見込み（計画値）	K		0	0
	確保方策型（計画値）	L		0	0
	L－K			0	0

※ H27～H28は実績値、H29は4/1現在の実績値とし、H30以降は見込み数

【計画値の見直し理由】

H30年以降の量の見込みについては、数の変動が見込まれますが、確保方策については自然増加および減少、社会増加や減少を考慮し、見直しを行いません。